

2019年度パークレンジャー養成基礎研修

催しの企画と募集チラシ



2019 / 8 / 4

NPO法人日本パークレンジャー協会

1.NPO 法人日本パークレンジャー協会について

(Japan Park-ranger Association)

■ 『設立目的』について (2011年2月設立)

大阪府民の森などの自然公園とそこを訪れる人々をつなぐかけ橋として、自然体験活動や環境保全、環境教育などの自然にかかわる活動を通じて「自然の大切さを伝える事」を目的として設立されました。

■ 『私たちの思い』について

人類は誕生してから自然とともに生きて来ました。しかし現代では人と自然の関係を知らない人が増えています。また身近な自然が開発等で破壊されたり、放置された田畑や森林が増えて景観の悪化や自然災害の危険を招いています。そして多くの動植物が生息・生育場所を失って絶滅の危機に直面しています。このような時に私たちは 人と自然をつなぐかけ橋として、身近な自然や環境を守るために行動する人を育て、自然を大切にする人の輪を広げていきたい と思います。

2. 企画とは

「思い(目的)を明確にし、その思いを達成する為具体的に計画を立てる事」

■ 企画の必要性：

- ◎ 私たちの活動の目的は、知識や経験を活かし、様々な自然にかかわる活動を通して、人々に「自然の大切さを伝える」 こと

そして活動の参加者が自然の体験を通じて「自然や環境の大切さに気づき、その課題を知って自らどうしたら良いか考え、行動できる人」 になってもらうことです

伝えたい 「思い」 を具体的な 「かたち」 にする

「かたち」 = 「自然の催し(事業)企画」

3. 思い(目的)を明確に

■ 活動の参加者が自然の体験を通じて「自然や環境の大切さに気づき、その課題を知って自らどうしたら良いか考え、行動できる人」になってもらうことです

例：

- 自然を身近に感じることにより、自然に関心を持つ
- 自然をより深く理解できる
- 自然と人間の望ましい関わり合いを理解する
- 感性や感動する心を育む（センス・オブ・ワンダー）
- 自主性・忍耐力・判断力・協調性・責任感等を養う
- 人間としての「生きる力」を養う

等々……

4.企画(催し)での私の思い(目的) ワークショップ

例: (企画名 おもしろウォーク)

(自然を大切にするために、私は)

(誰に) 「府民の森に訪れるファミリー層の家族の人々」に

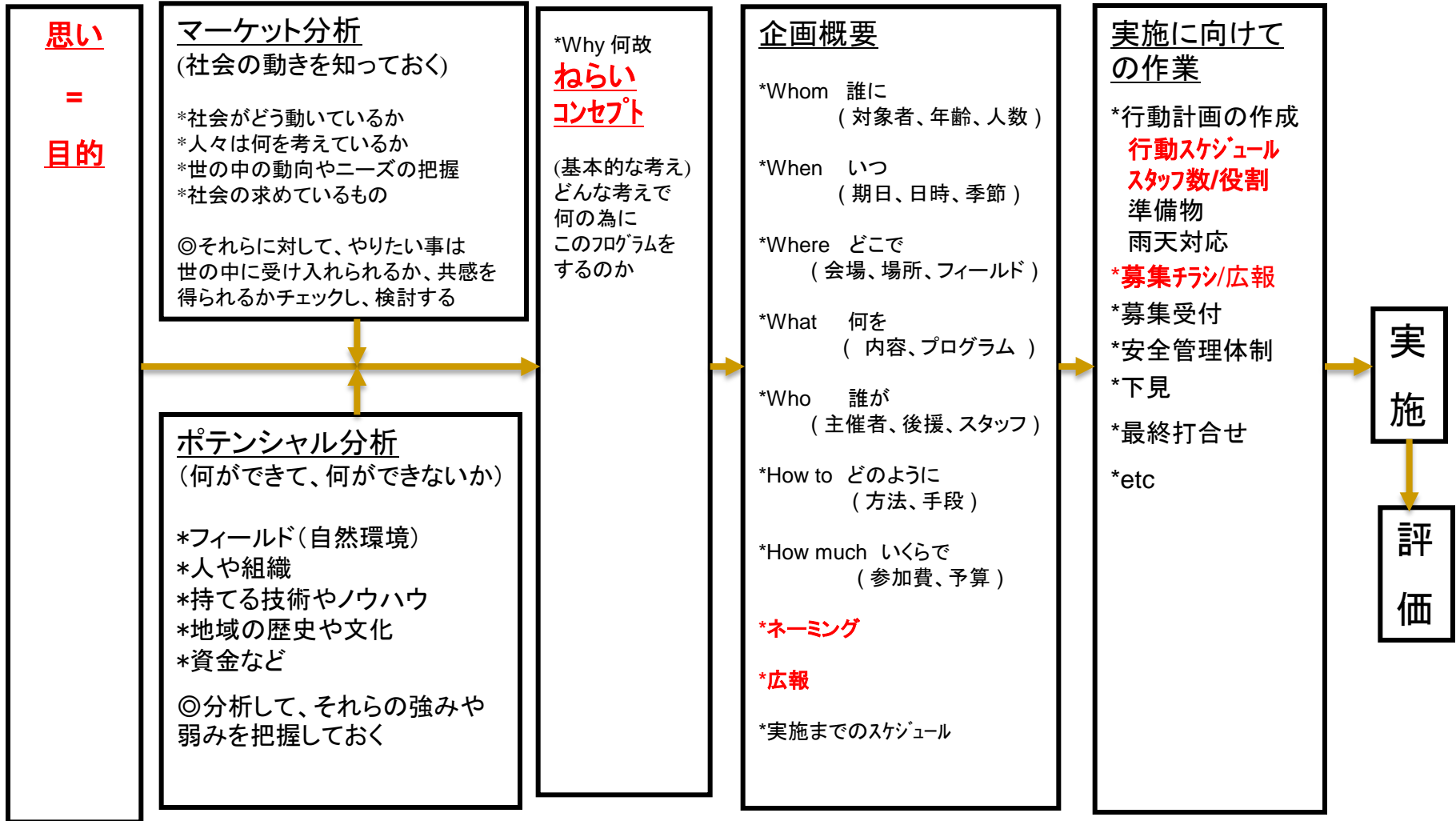
(何を) 「身近な自然・足元にある自然を、家族で自らの五感を有効に活用しながら、自然体験等をし、自然の中でみんなで大いに楽しもう！」 (と伝えたい)

(そのわけは、)

自然体験を通じて、まずは「自然を知ること・自然を感じること・自然の中で楽しむこと」が、「自然を大切にすることを育てるきっかけづくりになる」 です。

5. 企画のプロセスと要素について

*(企画の6W2H)



企画の中心を貫くものは、「自然の大切さを伝える」ということ

6. ねらいとは?

活動のねらいや特徴をわかりやすい言葉で表現したもの

イベント名	ねらい
花を楽しむハイキング	<u>4月頃から咲き始める多くの高山植物</u> を愛でながら、ゆっくりと歩いて <u>金剛山の豊かな自然を感じて貰う。</u>
ナイトハイク&星空観察	夜の森を歩きながら五感を使って夜の自然を体験。 <u>夜行性動物や昆虫の活動、また星空の動き</u> を観察することで、 <u>地球及びその自然とそこに生きる人間や生物の関わり</u> を伝える。
フィールドサインってなんだろう?	<u>フィールドサインについて</u> 、知って、作って、観察をする。普段はなかなか見る事が難しい、 <u>森の動物の活動について身近に感じ</u> 、冬の山の楽しみを提供する。
初登り&豚汁 (かまど炊きごはん付き)	雪の金剛山をハイキングしながら、 <u>樹氷をはじめ冬の金剛山の自然</u> を紹介し、 <u>冬ならではの自然の楽しさ・心地よさを感じてもらうとともに、自然の大切さを伝える。</u> 最後にちはや園地での豚汁で体を温めて、 <u>心身ともに自然を満喫してもらおう。</u>
My竹トンボ・Myバッタを作ろう!	<u>竹を使ったクラフト</u> を作る事で <u>自然素材の良さや手作りする楽しさ</u> を伝える
マイ「竹とんぼ」作り	<u>クラフトに使う自然素材</u> を通して、 <u>自然への興味を促すと共に、クラフトの魅力</u> を伝える。
紅葉ハイキング	<u>紅葉の森を散策</u> しながら金剛山～ちはや園地までのハイキング。金剛山の自然を解説しながら、 <u>森の中を歩くことの楽しさ・心地よさを感じてもらうとともに、自然の大切さを伝える。</u>
パン作り&ガイドウォーク	パン作りをすることで、参加者に <u>小麦と食生活のつながり</u> を再確認してもらい、 <u>そこから自然と命のつながりを伝える。</u> また、ガイドウォークにより、ちはやの自然を体験させる。
石窯ピザ作り&ガイドウォーク	自然豊かなちはや園地で石釜を使ったピザ作りを体験する。金剛山のおいしい空気や景色とともに自然の恵みを味わう。この体験を通して、自然の中で味わうスローフードの良さと、アウトドアクッキングの良さを感じてもらおう。 また普段意識せず食べているピザも生地発酵には <u>微生物の力</u> を利用している事や、発酵時間を利用したガイドウォークで <u>身近な自然の作用</u> を伝える。

7. ネーミング

■ 人を引き付ける催しタイトル

例：「ナイトハイク & 星空観察」
「神秘的な夜の冒険トレッキング」

■ キャッチコピー：参加したくなるような呼び込みの言葉

- * 夜の金剛山を歩いてみよう！
暗闇の中に何かが見える...
そして、満天の星空も...
さあ、みんなで夜の森を楽しもう
- 夕暮れから夜の森を歩きます！
何と出会うかは ??
大阪平野の夕暮れ、そして夜景、
PLの花火等々.....

何が、アピールポイントなのかを 短く シンプルに わかりやすく 伝えるもの

8. 広報

■ 催し参加募集の手段

- 例：
- ・ 募集チラシを作って配る
(園地、公共施設....)
 - ・ 新聞、府政だよりなど
 - ・ ミニコミ誌
 - ・ WEBに載せるなど

(みどり公社・JPAやNATS等のH/P、イベントバンク登録....)

最近では紙媒体配布は減ってWEB掲載が主流です

9. 募集チラシ ワークショップ

■ 一目で見てわかる催し概要

例：別紙参照

「ナイトハイク & 星空観察」

「神秘的な夜の冒険トレッキング」

10. 行動スケジュール

■ 催しを時間と行動で分かるようにした具体的計画

例:ハイキングの時

- 9:00 ○○○駅前集合 ご挨拶・諸注意・準備体操等々
- 9:30 グループに分かれて出発
- 12:00 ○○○着 昼食・休憩
- 13:00 ~ ○○○の自然観察会(ハイキング道中も含む)
- 14:00 ~ 下山開始
- 15:00 ○○○駅到着 振り返り、まとめ、ご挨拶後解散

スタッフ、参加者にとって無理のない内容と
スケジュールであること

11. 催し（プログラム）の流れ

- **開 会** : 参加者へのあいさつ/自己紹介
- **導 入** : 安全・諸注意事項・準備体操・アイスブレーキング 等々
どんなことをするのかルール等の説明(目的の共有)
- **本体(Activity)**: 自然の催し全般 (ハイキング、クラフト、自然観察、野外料理...)
* 催しの順序だて や 盛り上げを工夫する
- **ふりかえり** : 催し(体験)を通じての気づきや感想
参加者同士の学びの紹介
- **まとめ** : 参加者に伝えたいこと : 「**自然の大切さ**」への思いなど
(伝えたいこと) (自然と自然のつながり、自然の役立ち、人と自然の関係....)
- **主催者としてのふり返り** : 評価、反省、気づき、次回への方向づけ....

本番の流れを頭に描いておくことが大切

12.. 役割分担

■ イベントリーダー

* 催しを総括するプロデューサー/企画書・計画書のまとめ/調整

■ サブリーダー

* リーダーを補佐し、時にはリーダーの代行をする

■ スタッフ

* プログラムに従って、それぞれの役割を果たす

■ 安全管理担当

* お客さんやスタッフの安全管理と安全についてのまとめ役を行う

■ その他

* その他、催しに応じて必要な役割分担を行う

リーダーの役割が大ですが、全員の協力がなければ成功しません。